

# 教育のつどい大阪2011

第61次大教組  
教育研究集会



青年教職員で結成、南河内踊り子隊「のよこいん」の仲間と教職員による元気いっぱい合唱

# 大教組教育研究集会が開幕

教育のつどい大阪2011全体会が、10月8日松原市文化会館ホールで開催され、約400名の教職員、父母・地域の人たちが集いました(南河内ブロック開催)。教育を根本から破壊する「教育・職員」基本条例案が府議提出されるなか、つどいでは、「憲法と教育の条理」にもつとめ、教育・学校への大きな声援を呼びかけ、多彩な歓迎行事とフリージャーナリストの斎藤貴男さんの記念講演が行われました。



斎藤 貴男さん  
(フリージャーナリスト)

「食の安全」も「弱肉強食」の面から、食の小事「構造改革」時代へ

○教育破壊の2条例案撤回、府政市政転換に全力を  
主権を代表して挨拶した田中康寛大教組委員長は、東日本震災と福島原発事故から、いま人間の運命の新しい政治の実現を国民が求めていること、橋下知事率いる大阪維新の会が提出した「教育・職員」基本条例案は、特定の政治勢力による競争と強制の教育の押しつけたと厳しく批判。撤回に向けた取り組みと合わせ、大阪府政・市政の転換に手をあげ

○超エリート育成の教育政策を厳しく批判  
全体会の記念講演にたった斎藤貴男氏は、今の民主党政権が、経済政策やアベノミクス、事同盟強化の面から、弱肉強食の小事「構造改革」時代へ

○多彩な歓迎行事で盛り上がる  
つどいでは歓迎行事として、地元高校生とOJ、Bに上る和太鼓演奏、青



「京みやこ」の和太鼓演奏



会場も一緒に「上を向いて歩こう」を合唱

# 梅田さんとともに 府政を変えて 教育とくらしを守る

## 知事選勝利で、「2条例案」を撤回!!

11月27日に予想される大阪府知事選と市長選のダブル選挙は、大阪の未来を左右するきわめて大事な選挙となります。府民の命とくらし、福祉、教育を大切にす政の実現、府民が主人公の府政へ、新たな連帯を築いていく取り組みです。

### 1 府民が主人公の府政を

(1)憲法を守り、生かす知事を生かす知事

橋下・大阪維新の会「教育基本条例案」「職員基本条例案」(2条例案)など、憲法、民主主義を破壊し、特定の政治勢力による府の行政・教育への不正な支配へ、府民支配をねらっています。

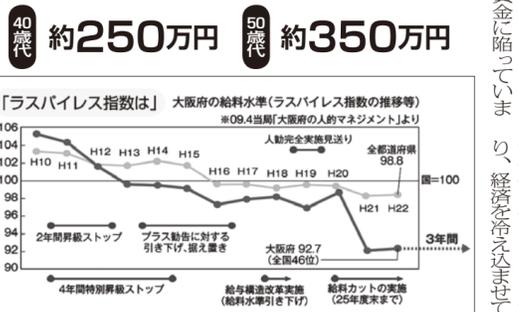
「2条例案」を撤回させ、知事一人独裁の冷たい府政ではなく、府民の多様な声をもつ「府民が主役」の大阪を築いていくことが求められています。

今こそ憲法と民主主義を守り、府政のすみずみに憲法を生かす、革新民主

### 府政転換のポイント

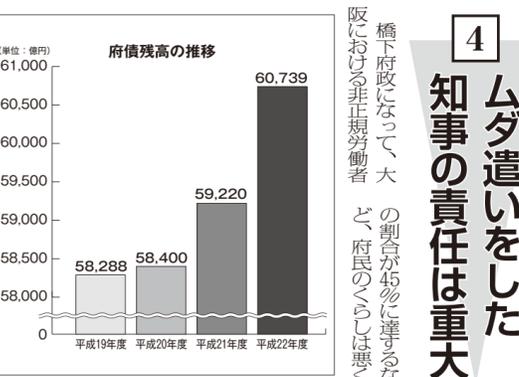
- 「2条例案」撤回、すべての子どもの成長と発達を保障する教育の前進へ
- 府民の命とくらし、教育・福祉最優先の府政へ転換し、内需拡大で大阪経済の立て直しへ
- 「財界が主役」「大阪都」構想を許さず、府民の願いにこたえる、府民が主人公の府政へ
- 震災・津波に強い大阪「原発ゼロ」自然エネルギー日本一の大阪へ

(橋下府政によって...) 「この4年間でこんなにも賃金カット?



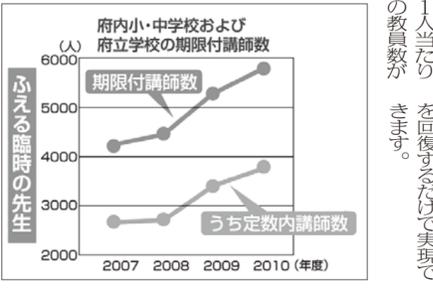
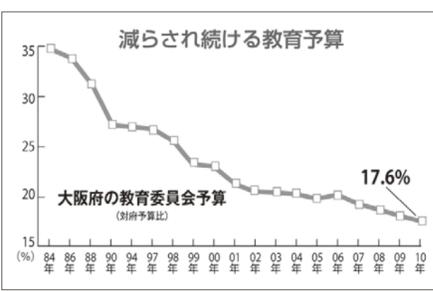
### 3 賃上げと、「システム」の廃止を

(1)府独自カットを中止させ、「全国並み」をこえる賃金を  
す。府政を転換し当面「全国並み」の賃金を、まず戻すことが求められます。とくに府職員の賃金切り下げが、民間の賃金切り下げにつながり、経済を冷え込ませて



### 4 ムダ遣いをした 知事の責任は重大

橋下府政になって、大阪における非正規労働者の割合が45%に達するなど、府民のくらしは悪くなる一方です。そして使



(1)府内すべての学校に、府独自配置をまよ、3人以上の教員を増やせよ。これによって、児童生徒と児童生徒の教員数が、全国平均に追いつきま

## 3年連続マイナス勧告を許さず、生活改善をめざそう

### 2011人事院勧告のポイント

- ◆月例給 0.23%の引き下げ(年額平均1.5万円)削減
- ◆一時金 3.95月の据え置き
- ◆意見の申出 60歳を超える給与を7割に(職務内容は同じ)

人事院は9月30日、国家公務員一般職の給与等について、勧告報告を行いました。同時に、おこなわれた高齢期雇用にかかわる「意見の申出」は、65歳までの定年延長を7割、年収を削減に削減する重大な問題を持っています。

を続ける定年延長であるにもかかわらず、60歳を超える公務労働者の年間給与を60歳前の7割とする極めて不当な内容です。私たちは、賃金の引き下げを伴わない定年延長の延長も含め、60歳を超える教職員を定数外とするなど、大幅な定数改善、多様な働き方の選択の保障など教職員の要求に基づいた制度の確立を求めています。



府高教は、9月22日に「維新の会」に2条例案撤回の教職員署名5360人分を提出。テレビ3社、報道関係者10人ほどもこの様子取材。現在、教職員の4分の3を越える6500名まで到達。



堺教組は9月22日、梅田さんを講師に学習決起集会。114名が参加。「条例案自体、憲法への挑戦。憲法をまもるすべての人々たちを結集して闘う」と梅田さんの決意に励まされました。

## 市民の声は白紙撤回

池田市は今年6月「小・中一貫教育」に名をかり、学校統廃合計画を発表しました。その内容は池田の小中学校を5つの中学校に統廃合しようというもので、これが強行されたら池田の教育は根本から破壊されます。



池田「小・中統廃合問題」...小・中でひとつのプール... 学校統廃合計画に反対します

川原 誠